

紋高養通信

「喜びの言葉」

4月9日、本校は、20名の新入生を迎えました。新入生の皆さんは、みんな少し緊張した様子でしたが、代表の生徒は、ステージで堂々と入学の喜びの言葉を述べました。新入生代表のあいさつを紹介します。

「オホーツクの海明けとともに、雪もとけていき、ここ紋別にも春の訪れを感じるころとなりました。この良き日に、私たち20名は、北海道紋別高等養護学校に入学し、今、高校生活の第一歩を踏み出しました。

これから始まる高校生活では、入学の喜びとともに、家族と離れて生活する寂しさや、友達や先輩方と仲良く学校や寄宿舎生活を送れるだろうかという不安もあります。しかし、その不安以上に、私たちはこれから訪れる様々なできごとに期待し、胸をふくらませています。そして、何より私たちは、卒業後、「社会の中で働き、生活する」という大きな目標を持って入学してきました。



これからは、人に甘えることや頼る気持ちに負けず、困難があっても乗り越える強さを持って、先輩たちと共に学び、いくつもの経験を積みながら、目標に向かってがんばっていきたいと思います。これまで、温かく、そして時には厳しく、私たちを支えてくれた多くの方々のことを忘れず、期待に応えられるよう、高校生としての自覚を持って、努力することをここに固く誓い、喜びの言葉とします。」

新しい学校生活への不安と期待を胸に入学した1年生。入学式での誓いを忘れないで、3年間、豊かな学校生活を送ってくれることを期待したいと思います。

紋別養護学校通信

「入学おめでとう！」

～平成20年度新学期スタート～

4月9日、平成20年度北海道紋別養護学校の入学式が行われました。4月とは思えないほどの陽気の中、中学部5名、高等部1名の新入学生を迎えて、全校児童生徒24名での新学期が始まりました。

新入学生はだれもが緊張しながらも胸を張り、大きく温かい拍手の中、音楽に合わせて式場へ入場してきました。入学生紹介の時に名前を呼ばれると、卒業式の証書授与を思い出し演台へと向かう生徒がいたり、返事の声を出せない生徒がいたり、式の雰囲気を感じ緊張した様子でしたが、教師と一緒に手を上げるなど、生徒それぞれの方法でアピールすると、その度に大きな拍手が起こりました。また、在校生からお祝いのエールやプレゼントをおくる場



面では、緊張していた生徒の表情も緩み笑顔を見せていました。最後には児童生徒と教職員による歌声が、会場全体に響き渡り入学式が終了しました。

初めて出会う友達や教職員、初めての学習活動に戸惑うこともあるかと思いますが、一日も早く新たな環境に慣れ、元気に学校生活を送ってほしいと思います。

そして、会場に足を運んでいただいた地域の方々のおたたかな声援に心より感謝します。今後とも紋別養護学校児童生徒24名に、地域の皆さんのご支援をよろしくお願いします。